

2014年7月23日

第3回原子力小委員会への意見書

委員 辰巳菊子

第3回原子力小委員会を欠席させていただきますため、書面での意見を提出させていただきますたく、どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 「委員会の動画公開」に関し

第2回の委員会で、伴委員からご提案のありました「委員会の動画公開」の件につきまして、短い時間の中での委員長決定であり、委員会で全く話し合いが出来なかったこと大変残念です。

直前の有識者からのヒアリングでお聞きした元国会事故調委員長黒川先生のお話でも、一番大事なのは「透明性の確保」といわれ、「プロセスを全部見せていかなければ誰も信用しない」と断言されていました。それをお聞きして直後の「動画は公開しない」との回答は、あまりにも寂しい決定です。議事録公開と動画公開では、透明性があるといえども申すまでもありませんが、質が全く異なります。

福島事故以降、私が出席しましたエネ庁のいくつかの委員会でも動画公開が行われ、私は大変良い傾向と思っていました。

それなのに、ここに来てまた以前の委員会へ後戻りでしょうか。

再度、動画公開について、全委員の方々にもご意見をお伺いして、再検討いただけますようよろしくお願いいたします。

(2) 「原子力依存度低減達成にむけた課題」について

原発再稼働が現実的になってきたようです。エネルギー基本計画に書かれた「原発依存度を可能な限り低減する」ということばは、耳にはなんとなく優しいがあまりにも漠然としていて、いつまでに、いつの時点と比較し、どのくらい低減するのかという全体像が見えず、人によって、そのイメージは全く異なります。

少なくともこの小委員会では各委員の認識がそれぞれ異なるのだということを確認するという過程があってもいいかと思えます。

なお、依存度を下げる手段としては、原子力発電所を順次速やかに廃炉とすることが現実的であるとし、廃炉を課題としている点、同意します。

その具体的な方策に関しては、廃炉、廃棄物（廃炉となった炉から出る廃棄物）に関するワーキングを別途立ち上げて検討頂きたいし、また発電所内にある使用済み核燃料廃棄物の処理に関しても早急に別途検討する場が必要だと思えます。

以上、第3回委員会への取り急ぎの意見です。

